

東京2020大会関連展示キャラバン事業の報告について

1 目的

大会に向けて挑戦し続けるアスリート、スポーツを支える人達（区内企業の取組など）等の展示を区民に身近な場所で行った。小規模な展示が区内各地をまわり、地域の特色を活かした、きめ細かな情報を発信し、ゆかりのアスリートや区の取組に対する認知度向上を図る。

2 展示概要

- (1) 期間 令和2年10月から令和3年3月まで
- (2) 場所 特別出張所18所、図書館15館
- (3) 内容 ①区ゆかりのアスリート、②スポーツを支える区内企業、③ホッケーの3つのテーマを設定し、地域や施設ごとにテーマに沿った展示を実施した。

3 来庁者の様子（出張所から聞き取り）

- ・選手紹介のパネルに目を留める方やじっくり読まれている方が窓口の待ち時間に多くいた。（大森西）
- ・文化センターの待ち時間などで見ている方が多くいた。特に子どもたちが興味を持って楽しそうに見ていた。（嶺町）
- ・窓口の手続きの待ち時間に、見ている来場者が多くいた。（田園調布）
- ・選手の大型バナー3つと1964年当時の新聞記事パネルのところを熱心に見ている人が多く見受けられた。また、来場者の中には、選手の親族やファンの方もおり、記念に写真を撮られる方もいた。（羽田）
- ・出張所や子ども家庭支援センター、包括支援センターに用事のある子ども連れのお母さんや高齢者などの中で、興味のある方はじっくり見ている。また、興味はさほどなさそうな人も、なにをやっているのか気になる様子で、目を向けていたので、目立っていたと思う。（六郷）
- ・蒲西管轄のアスリートを紹介していたため知り合いが多数来所し、写真、パネル等を見てたいへん喜んで、このパネルを欲しいとまで言っていた。また、待ち時間に熱心に展示を見ている区民の方が多数いた。（蒲田西）

4 事業の成果

特別出張所では、事前に担当者と打ち合わせを行い、各出張所の希望や地域性に合わせた内容の展示を行った。

コロナ禍でイベント開催が難しい中、区施設での巡回展示という形で東京 2020 大会関連の展示を実施した。特別出張所や図書館といった地域の身近な場所で展示を行うことで、多くの区民に周知することができた。

図書館では、オリパラ関連本のリストアップと共にオリジナル看板・装飾の作成、展示方法等を各館で創意工夫しながら、展示していただいた。

5 展示の様子



大田図書館 (12/11~1/13)
テーマ：区内開催競技ホッケー



羽田図書館 (1/22~2/17)
テーマ：区ゆかりのアスリート (糀谷・羽田地域)



蒲田駅前図書館 (1/26~2/21)
テーマ：区ゆかりのアスリート (蒲田地域)



大森西特別出張所 (1/4~1/29)
テーマ：区ゆかりのアスリート(大森地域)



羽田特別出張所 (1/4~1/29)
テーマ：大田区町工場の取り組み紹介 他



蒲田東特別出張所 (11/2~11/30)
テーマ：パラスポーツ